

## 授業科目 臨床実習 III (総合実習)

【担当教員名】  佐藤 成登志	対象学年	4	対象学科	理学	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	11	時間数	495	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 臨床において障害を持った方に理学療法士として接する場合の基本的な態度を理解し実践する。 また、学内演習や臨床実習Ⅰ・Ⅱで学習した知識や技術を障害を持った方の評価に応用し、理学療法士となるための資質をさらに高める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臨床における理学療法の対象者に検査測定および評価を行う。 2. 臨床に関する他部門の職種から対象者に関する情報を収集し、総合的な評価に役立てる。 3. 検査測定において、信頼性の高い方法を習得・実践する。 4. 対象者に応じて選択した検査測定項目の妥当性を検証する。 5. 検査測定の結果を適切に記録し、他の情報と合わせて、対象者の全体像をまとめ理学療法の重点課題を解釈し記述する。 6. 対象者の特徴を考慮して、問題点を抽出し治療目標および治療方針。理学療法プログラムを立案する。 7. 臨床実習指導者の下で、対象者に理学療法プログラムを適用する。 8. 一定期間のプログラム適用後、再評価を行い、治療目標や治療方針・理学療法プログラムの見直しを行なう。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習前オリエンテーション			1～8	説明・諸手続き
2	病院施設実習			1～8	臨床実習指導者および教員
3	実習後セミナー			1～8	発表、討論
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 臨床実習指導者による学生評価と、総合 OSCE および実習後の提出物、セミナーによる総合 判定		【履修上の留意点】 病院・施設実習中は、臨床実習指導者の指示に従うこと。詳細は、実習前オリエンテー ション時に配布する資料、臨床実習の手引きを参照すること。			